

現代社会にあつては種々の領域で専門分化が進み、システム全体の統合に対する取り組みと管理の重要性が指摘されています。保健・医療・福祉における多職種による様々な介入は、固有の対象者に独立的かつ総体としての帰結が問われます。たとえ、個々の介入が効果的であったと判定できても、全体としての効果が打ち消されてしまうようでは適切な方法とはいえません。

医療・福祉領域における理学療法は、対象者中心・参加型のチーム医療のなかで展開・実践され、理学療法士が行う介入が総体として最大の効果が得られるように構築していく必要があります。同時に、専門職に求められる固有の知識・技術の重要性は益々高まり、専門分化された独自性を明確にすることも大切です。これらの概念は、システムに対しても、個々の対象者に対する全人的ならびに局所的な症状についても当てはまります。対象者全体からみれば、生活機能を中核とした連続性と地域完結型医療を実現するための“連携”や連続性を重視し、局所症状に対しては種々の処置や治療の融合と相乗効果を検証することが求められます。例えば、痙縮の強い麻痺筋に対して、薬剤による筋緊張の調整、装具による持続伸張とアライメントの改善、物理療法による筋緊張亢進の軽減などが実施されます。その局所所見の評価法には、H波の計測、modified Ashworth Scale、振り子試験などがあり、それぞれの効果判定を行うことが可能です。しかし、その対象者にとって痙縮が高いことが生活機能にどのような支障を来しているのかを相対的に位置づけた上で、適切な介入を行うことが重要となります。また、歩行の獲得にあたり、どのような戦略で痙性歩行を実用的な歩行能力に適応していくのかを明らかにして、運動療法を組み立てていく必要があります。その際、例えば杖を使うことを想定したバランスと歩容を念頭においた運動療法を行うのであれば、全体の文脈の中で装具の適応と処方時期が決定されることになります。

理学療法士にとって、運動療法、物理療法、義肢・装具は決して個々にその適応を決定するわけではなく、統合された連続性の中で位置づけられる必要があります。今後、理学療法士には、薬理作用、栄養サポートなどを含めて、益々、総合的な知識と技術の応用が期待されています。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第40巻 第10号)

2006年10月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

〔2006 年年ぎめ予約購読料 22,920 円〕
(全 13 号、配送料弊社負担)

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当: 松田・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2006, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 弘
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
平 澤 有 里
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司